

< あなたの治療について >

呼内-Pembro/CBDCA/nabPac-Sq-q3W

今回の治療は、Pembro/CBDCA/nabPac 療法という治療法で、キイトルーダ（KEY）とカルボプラチン（CBDCA）とアブラキサン（nabPac）という3種類の注射薬を併用して行います。キイトルーダ、カルボプラチン、アブラキサンは、共に腫瘍の増殖を抑えるお薬です。3つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。









治療全体の流れ

今回の化学療法は3週間が1コースとなっています。各コースの1日目と8日目と15日目に点滴を行います。この治療を3週間（21日間）ごとに4回繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~3日目	4~21日目
アプレピタント (吐き気止め)	内服	125	80	お休み

アプレピタントは症状に応じて上記日数を超えることがあります。

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~14日目	15日目	16~21日目
	キイトルーダ (抗がん剤) 200mg/body	点滴 約30分		お休み				
	デキサート アロキシ (吐き気止め)	点滴 約30分		お休み	お休み	お休み	お休み	お休み
	デキサート (吐き気止め)	点滴 約15分	お休み					
	アブラキサン (抗がん剤) 100mg/m ²	点滴 約30分						
	カルボプラチン (抗がん剤) 6AUC	点滴 約1時間			お休み		お休み	

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなったりはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、腕を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度20%以上）

アブラキサン・カルボプラチンについて

白血球減少、好中球減少、リンパ球減少、単球減少、貧血、赤血球減少、ヘモグロビン減少、
 ヘマトクリット値減少、血小板減少、末梢神経障害、筋肉痛、関節痛、運動障害
 嘔気・嘔吐、悪心、食欲不振 無力症 脱毛 発疹

特徴的な副作用について

キイトルーダにおける

間質性肺疾患

「発熱、から咳、息苦しい」などの症状

甲状腺機能障害、下垂体機能障害、副腎機能障害

「全身倦怠感、むくみ、発汗、体重減少、意識がうすれる、血圧低下」などの症状

ぶどう膜炎

「霧視（かすみがかかったように見えること）、飛蚊症（虫が飛んでいるように見えること）、羞明感（まぶしく感じる）、視力低下、眼痛、充血」などの症状

Infusion reaction

「発熱、悪寒、そう痒症、発疹、高血圧、低血圧、呼吸困難等」などの症状

アブラキサンにおける

末梢神経障害

「手足のしびれ感、灼熱感、痛み：物がつかみづらい、歩行時につまづくことが多い」などの症状

***しびれがひどくなり、生活上の支障が出てきたときは必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

過敏症状

呼吸困難、胸痛、低血圧、頻脈、徐脈、潮紅、血管浮腫、発汗等

刺激伝道障害

高血圧、低血圧、徐脈など

関節痛・筋肉痛

症状は一般に、投与開始後2, 3日後にあらわれ、また、早期のクール(1~3クール目)より発現する傾向にあります。

発熱

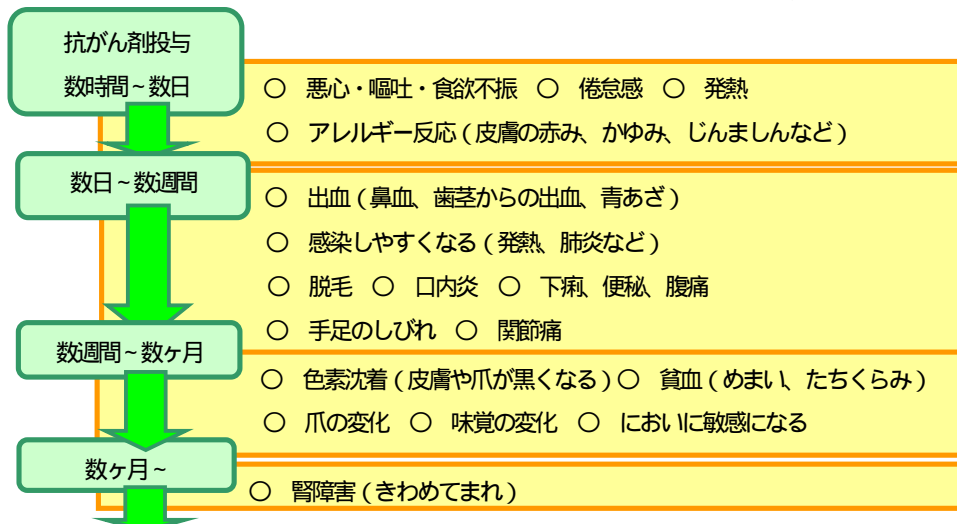
***上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。**

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

**薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

【キイトルーダ】

- <間質性肺疾患>発熱 から咳、息苦しい
- <大腸炎、重度の下痢>嘔吐（おうと）、腹痛、下痢、泥状の便
- <皮膚粘膜眼症候群、多形紅斑>まぶたや眼の充血、唇や口内のただれ、発疹、みずぶくれ
- <類天疱瘡>かゆみの激しい水疱
- <神経障害>運動のまひ、手足のしびれ、指先のしびれ、歩行困難
- <肝機能障害、肝炎>からだがだるい、白目が黄色くなる、かゆみ
- <甲状腺機能障害>汗をかきやすい、胸がドキドキする、からだがだるい、寒がりになる
- <下垂体機能障害>からだがだるい、頭がぼーっとしたり意識がなくなったりする、血圧低下
- <副腎機能障害>からだがだるい、意識がうすれる、低血圧
- <1型糖尿病>からだがだるい、のどの渇き、尿の量が増える、意識の低下
- <腎障害>むくみ、頭痛、尿量が減る
- <肺炎>吐き気、嘔吐、胃・おなかの激しい痛み、背中での痛み
- <筋炎、横紋筋融解症>脱力感、筋肉の痛み、息苦しい、赤褐色尿
- <重症筋無力症>まぶたが重い、上まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感
- <脳炎、髄膜炎>発熱、頭痛、意識の低下
- <インフュージョン・リアクション>呼吸困難、意識障害、まぶた・唇・舌のはれ

【アブラキサン】

- <白血球減少等の骨髄抑制>熱がある、さむけがする、出血しやすい、血が止まりにくい、貧血
- <末梢神経障害>手足の痺れ、服のボタンかけができない、手先の細かい作業に支障
- <脳神経麻痺>目を閉じることができない、額のしわを寄せることができない、飲み込みにくい、しわがれ声
- <ショック、アナフィラキシー様症状>急に息苦しくなる、胸が痛い、血圧低下、脈が速くなるあるいは遅くなる、顔などがぼてる、むくみ、発汗
- <間質性肺炎、肺線維症>から咳が続く、息苦しい、発熱
- <急性呼吸窮乏症候群>急に息苦しくなる
- <心筋梗塞、うっ血性心不全、心伝導障害>動悸、息切れ、胸痛、息苦しい
- <脳卒中、肺塞栓、肺水腫、血性性肺炎>頭痛、めまい、吐き気、息苦しい、胸が痛い、局所の血管の痛み・腫れ
- <難聴、耳鳴>聞こえにくい、耳鳴りがする
- <消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管瘻>激しい腹痛、下血
- <重篤な腸炎>下痢、激しい腹痛
- <腸管閉塞、腸管麻痺>悪心・嘔吐、著しい便秘、腹痛、腹部膨満
- <肝機能障害、黄疸>白目や皮膚が黄色くなる、体がだるい、食欲不振
- <肺炎>上腹部の激痛
- <急性腎不全>尿が出なくなる、血尿が出る、むくみ
- <皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症>手足に輪状の紅斑、発熱、まぶたや眼の充血、唇や口内のただれ
- <播種性血管内凝固症候群>出血しやすい、血が止まりにくい

【カルボプラチン】

- <汎血球減少等の骨髄抑制>発熱、悪寒、咳、鼻水が出る、めまい、出血しやすい、血が止まりにくい、あざができる、体がだるい、疲れや

すい、息切れ、のどの痛み

<ショック・アナフィラキシー様症状> 唇や爪などが青紫色になる、胸や息が苦しくなる、急に気分が悪くなる、めまいがする

<間質性肺炎> 発熱、咳、胸や息が苦しくなる

<急性腎不全> 尿の出が悪くなる、血尿が出る

<肝不全、肝機能障害、黄疸> 黄疸が出る

<消化管壊死、消化管穿孔、消化管出血、消化管過剰> 激しい腹痛、下血

<脳梗塞、肺梗塞> 意識の低下、手足のしびれ、息苦しい

<血栓・塞栓症> 手足のしびれ、息苦しい

<心筋梗塞、うっ血性心不全> 動悸、息切れ、胸が痛い、苦しい

<溶血性尿毒症症候群> 出血しやすい、血が止まりにくい、尿の出が悪くなる、皮膚や白目が黄色くなる、めまいがする、皮膚に紫色の斑点ができる

<急性呼吸窮乏症候群> 急に呼吸が困難になる

<播種性血管内凝固症候群> 出血しやすい、血が止まりにくい

<急性膵炎> 上腹部の激痛

<出血性腸炎、偽膜性大腸炎> 激しい腹痛、下痢

<麻痺性イレウス> 食欲不振、悪心・嘔吐、著しい便秘、腹痛、腹部の膨満、腸内容物のうっ滞

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。